



あすまち [公共計画編]  
こおりやま 概要版

郡山市まちづくり基本指針

2018-2025  
The Plan for the Future of Koriyama



# 郡山市まちづくり基本指針の特徴

## ① 簡素で分かりやすい二階層の構成

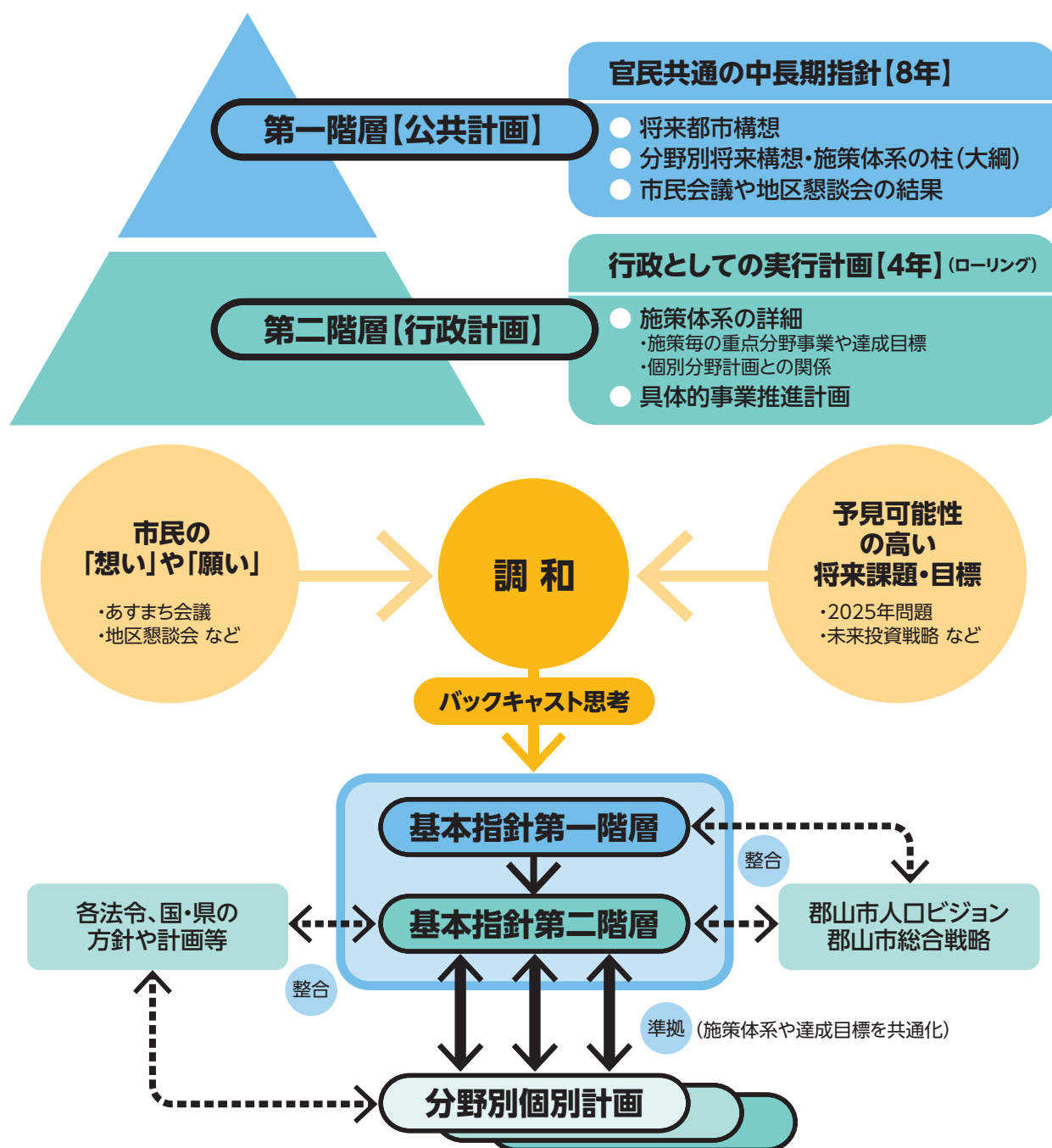
行政だけではなく、市民や事業者も含めた本市全体の将来都市構想を示すため、市民が策定主体として関わった「公共計画」と、行政として将来都市構想実現のために取組むロードマップを示す「行政計画」の二階層で整理

## ② 安定性と機動性の絶妙なバランス

中長期的な将来都市構想を掲げ、安定した行政運営を目指すと同時に、変化の著しい社会経済情勢や新たな技術等への対応、国の法令改正や新たな制度への対応など柔軟な機動性も兼ね備えたバランスの良い期間設定

## ③ 市民参加機会を拡充し、ともに未来を創造

「自由と責任」、「自立と連携」の理念に基づく住民本位の指針策定とするため、市民の「想い」や「願い」を基軸として未来を描き、予見可能性の高い課題や目標と調和させることで、具体的な未来ストーリーを創造



## 「みんなの想いや願いを結び、 未来(あす)へとつながるまち 郡山」

～課題解決先進都市 郡山～

「共有」・「共感」・「共奏」で多様な 人とつながるまち  
一人ひとりの「想い」や「願い」が 未来とつながるまち  
「魅力」と「活力」で 世界とつながるまち  
希望を紡ぎ 次の世代とつながるまち



# 分野別将来構想 5つの大綱と2つの取組



## 郡山市の目指す未来(将来都市構想)

大綱Ⅰ

大綱Ⅱ

大綱Ⅲ

大綱Ⅳ

大綱Ⅴ

## 横断的取組：復興・創生の更なる推進

### 基盤的取組

行政経営効率化(カイゼン、ICT・DG推進《スマート市役所》)  
セーフコミュニティ活動の推進、連携中枢都市圏構想の推進

## 大綱Ⅰ 「産業・仕事の未来」(商業・工業・雇用・農林業分野)

1. みんなが誇れる「郡山といえばこれ!」という産業があるまち
2. 楽しくてやりがいのある満足できる仕事のあるまち
3. 農林業が盛んで、市民の身近な産業となるまち

- ・先進的な研究機関等が立地する本市の強みを生かした産業集積
- ・戦略的な企業誘致活動による経済活性化と雇用創出
- ・起業支援や企業の人材育成への積極支援
- ・大規模な農業法人経営体支援や積極的な6次産業化支援



## 大綱Ⅱ 「交流・観光の未来」(交流・文化・観光・広聴広報・シティプロモーション分野)

1. 人が交流し、明るい声が聞こえるまち
2. 国内外に発信できる、自慢の地域資源があるまち
3. たくさんの人が「また来たい」、「住んでみたい」と思えるまち

- ・広域的な観光資源の魅力向上や滞在型コンテンツの開発推進
- ・豊かな歴史に根ざした地域資源の発掘と活用を積極的に推進
- ・本市産業を生かしたコンベンションの誘致及びアフターコンベンションの充実



## 大綱Ⅲ 「学び育む子どもたちの未来」(子育て・教育・地域学習分野)

1. 人と人とがつながり、みんなで子どもたちを育むまち
2. 笑顔があふれ、未来への夢を育むまち
3. 一人ひとりの個性を伸ばし、すべての子どもが輝くまち
4. 子どもたちが学びたいことを楽しく学び、地域で活躍できるまち

- ・子ども一人ひとりの興味・関心や適性を大切にしたい教育環境の整備
- ・大学等高等教育機関や企業等と連携した時代のニーズに応じた教育の推進
- ・子どもや子育て世代を地域全体で支えられる社会システムの構築



## 大綱Ⅳ 「誰もが地域で輝く未来」(市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)

1. 市民生活に活気があり、地域で楽しく元気に暮らせるまち
2. 好きなこと、得意なことを地域で学び生かせるまち
3. 市民が互いに支えあい、一人ぼっちにならないまち
4. 誰もが健康で生きいきと暮らせるまち
5. 女性が元気で活躍できるまち

- ・住み慣れた地域で、誰もが健康で豊かに暮らせる生活環境の実現
- ・生涯を通じて多様な社会参加ができる環境の整備
- ・市民一人ひとりの多様性を認め合い、男女が共に活躍できる社会の構築



## 大綱Ⅴ 「暮らしやすいまちの未来」(環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)

1. 環境にやさしく自然豊かな、住んでいてよかったなと思えるまち
2. 誰もが安心して快適に暮らせるまち
3. すべての人が安心して円滑に移動できるまち
4. 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち

- ・多様なライフスタイルに対応した、利便性が高く安全で清潔な生活環境の整備
- ・公共交通ネットワークの構築など暮らしやすいまちづくりの推進
- ・コンパクトシティ・プラス・ネットワークへの対応
- ・防災体制の整備やセーフコミュニティ活動の更なる推進
- ・環境負荷の少ない快適な生活環境の確保



## 横断的取組 復興・創生の更なる推進

### 【取組の展開】

- ・除去土壌等の計画的な搬出及び中間貯蔵施設への輸送
- ・市内の空間放射線量率の積極的な情報発信
- ・県や近隣市町村とも連携した本市産業への風評払しょく
- ・地域の強みを生かした先駆的な復興・創生の取り組みの推進

## 基盤的取組 行政経営の効率化 (デジタルガバメント) セーフコミュニティ活動の推進 連携中枢都市圏構想の推進

### 【取組の展開】

- ・ICT を積極的に活用した、効率的で先進的な行政経営の改善
- ・官民連携による様々な手法やノウハウの柔軟な導入
- ・地域社会全体によるセーフコミュニティ活動の推進
- ・「連携中枢都市圏構想」の推進による広域的な課題解決

# 市民との協働による基本指針策定

## ● 郡山市まちづくり基本指針策定経過 (2016(平成28)年4月～)

| 年度            | 月   | 策定段階         | 市民参加            |
|---------------|-----|--------------|-----------------|
| 2016<br>(H28) | 4月  | ・策定方針決定      |                 |
|               | 5月  | 庁内調整・フレーム案作成 |                 |
|               | 6月  |              |                 |
|               | 7月  |              |                 |
|               | 8月  |              |                 |
|               | 9月  |              | (わかもの創生会議)      |
|               | 10月 |              | あすまち会議こおりやま     |
|               | 11月 |              | (市民意識調査)        |
|               | 12月 |              |                 |
|               | 1月  |              |                 |
|               | 2月  |              | あすまちエリアディスカッション |
|               | 3月  |              |                 |
| 2017<br>(H29) | 4月  | 素案作成         |                 |
|               | 5月  |              |                 |
|               | 6月  |              |                 |
|               | 7月  |              | あすまち会議こおりやま2    |
|               | 8月  | 確定版策定        | (わかもの創生会議)      |
|               | 9月  |              |                 |
|               | 10月 |              | 郡山市まちづくり基本指針審議会 |
|               | 11月 |              |                 |
|               | 12月 |              | パブリックコメント       |
|               | 1月  |              |                 |
|               | 2月  |              |                 |
|               | 3月  |              |                 |





## ●あすまち会議こおりやま

- ① 設置目的  
郡山市まちづくり基本指針の策定にあたり、公平な市民参加により、市民の「想い」や「願い」に基づいた将来都市構想を設定するため設置
- ② 参加者  
無作為抽出で選定した18歳以上の市民3,000名から応募のあった延べ208名
- ③ 会議開催経過  
キックオフミーティング、5回の分野別ワークショップ、ラップアップミーティングにより、市民が策定主体として将来構想を検討



## ●あすまちエリアディスカッション

- ① 設置目的  
各地域の歴史や特色を住民自らが再認識し、未来の地域を担う世代のために解決すべき地域課題などを話し合うため設置
- ② 参加者  
小学生や中学生を含む地域住民延べ341名
- ③ 会議開催経過  
市内15地区で開催(テレビ会議システムにより近隣3地区同時開催)し、未来の地域に残したい資源やよくしたいことなどを話し合い



## ●あすまち会議こおりやま2

- ① 設置目的  
「あすまち会議こおりやま」で描いた将来都市構想を具体的なストーリーとして描き、市に提言するため設置
- ② 参加者  
あすまち会議参加者に加えて、公募で募集された延べ259名
- ③ 会議開催経過  
キックオフミーティング、3回の連続グループワークショップにより分野別将来構想のストーリーを構築し演劇方式で市に提言



## ●郡山市まちづくり基本指針審議会

- ① 設置目的  
市長の諮問に応じて必要な事項について審議を行うため設置
- ② 参加者  
学識経験者、郡山市へのIターン者、公募で選任された委員等40名
- ③ 設置期間  
2017(平成29)年10月10日(火)〈諮問〉～2017(平成29)年12月5日(火)〈答申〉

## ●パブリックコメント

- ① 意見公募期間  
2017(平成29)年12月20日(水)～2018(平成30)年1月19日(金)
- ② 実施結果  
2名の方から3件のご意見をいただきました。

## 「まちづくりに正しい答えはない。楽しい答えを描こう」 「未来を知りたいければ自ら未来を創ろう」

2016(平成28)年10月に開催した市民会議「あすまち会議こおりやま」で、参加者である市民の皆さんにお送りしたメッセージです。

この想いに呼応するかのように、「誰も一人ぼっちにならないまち」「学びたいことを思いっきり学べるまち」といった、心を強く打つようなリアルで共感できる将来構想が市民の皆さんによって語られました。

そして、その将来構想を実現するために、市民一人ひとりの「想い」や「願い」に根ざした力強いアクションを考え、小さな一歩をともに踏み出しました。

地域づくりに関係の無い市民はいません。同じ未来を目指す市民一人ひとりの小さなアクションが理想の未来を生み出していくのです。

### 「一尺を開けば一尺の仕合わせあり、 一寸を墾すれば一寸の幸あり」

先人の鍬の一振りが未開の安積原野を切り拓いたように、明日の郡山を創り出すのはフロンティア・スピリットにあふれた私たち郡山市民です。

# あすまちこおりやま 2018-2025

The Plan for the Future of Koriyama

## 郡山市まちづくり基本指針 [公共計画編]概要版

2018年 2月

編集・発行 郡山市

お問い合わせ  
TEL.024-924-2021 FAX.024-924-2822  
Mail:seisaku-kaihatsu@city.koriyama.lg.jp

あすまちこおりやま

検索

表紙衛星写真データ : ©2018 Google、DigitalGlobe

